

2007年11月 No.475

京都の福祉

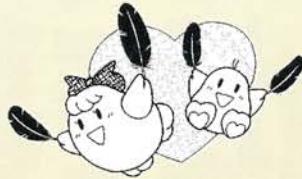
発行 京都府社会福祉協議会

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375
TEL 075-252-6291 FAX 075-252-6310

発行人 森 育 寿
<http://www.kyoshakyo.or.jp>

主な記事

- 1面…もえくさ
- 2面…特集 小規模多機能型居宅介護事業とは
～住み慣れた家や地域で暮したい～
- 5面…第56回京都府社会福祉大会を開催
- 6面…子育てリレーエッセイ④
- 7面…シリーズ第三者評価機関紹介⑥
- 8面…きばってます～市町村社協の活動紹介～



亀岡音羽の滝

もえくさ

▼平成十九年度の京都府社会福祉大会は、九月十三日、府内の各地から多くの関係者の参加を得て、盛会のうちに終えた。この大会では、様々な社会問題を引き起こしている「地域のつながりの希薄化」に対処するため、「みんなで支え合う社会の実現を目指して活動」することが決議された。また、大会では、永年、福祉活動に参画し功績のあった一六三名(団体)に知事表彰が、四三七名(団体)に府社協会長表彰・感謝が行われた。山田知事からは、ご挨拶の中で「地域の力そのもの」と被表彰者を賞賛いただいた。この五年間をとつてみると、知事表彰者は六〇一名(団体)、府社協会長表彰者は一、五四七名(団体)。京都の福祉の地域におけるリーダー、担い手の重層的な状況を感じさせる数字である。表彰を受けられた皆さんに改めて敬意を表したい。▼「地域のつながりの希薄化」は、地域福祉の大きな課題であるが、本当に悩みが深い。「近所付き合いしない」「自治会に入らない」「運動会などはもうろくな、防災避難活動にも参加しない」「災害時要援護者の登録も拒否する」など。▼平成十九年度国民生活白書によると、「地域行事に不参加・近所付き合いなし」が七%、「地域行事に不参加・あいさつ程度の最小限の近所付き合い」が十三・八%となつており、二割が攻め際のセン。しかし、つながりの希薄化がもたらす結果は深刻だから、なおがんばりが必要だ。▼ところで、本年度の大会は、首相退陣表明の翌日という政治的には大騒乱の時期に開催された。福祉には、国が現在の現場の状況や、将来をよく見極めて、真剣に対応してもらいたい課題がいくつかある。障害者自立支援法の見直し検討なども言われているが、献身的に頑張っている施設や地域が成り立つていかないようではどうにもならない。病院での記者会見では、「激務が心身をむしばんだことをしばせた」(京都新聞・凡語)し、「自身の体のことは語るべきでないと考えた」と説明があつたが、これを「美德」と考えたのはもうずいぶんと昔のこと。▼私たちは、地域のつながり・絆を再生するため、率直に、しっかりと語りかけ続けようと考へている。何よりも「安心と希望のもてる温かい地域づくり」(立石会長大会式辞)のために。

